

ベトナムの戦火は、米軍のカンボジア侵攻によって、金イン
ドシナに広がりつつある。

私たちの日本は、ベトナム戦争と無関係ではなかった。兵器
弾薬輸出による戦争特需は、私たちの経済生活にベトナムに結
びつけている。また、議会制民主主義を反古にして成立したア
ンボは、和圧からの解放をめざすアジア人を圧殺するための道
具となってきた。

あれから10年、再び改訂期を迎えたアンボは日米共同声明に
示される露骨な侵略性をまとい、自衛延長されようとしてい
る。

しかし、この10年は決して、私たちにとって真実ではなかつ
た。何年かの間、翌年の佐世保、成田、王子といった一連の反
戦斗争はアンボとベトナム、アンボと侵略との結びつきを鋭く
告発し、見せかけの平和に否定的な態度を示した。大学が、オキナワが
米軍基地が、自衛隊が、人権体制が、あらゆるアンボの矛盾が
私たちの射程内に入った。そしてアンボを具体的につぶしてい
く闘いが始まった。

今、私たちは、70年6月生きようとしている。70年アンボ、
それは、反戦と変革を創造する人々にとって、単なるコトバで
はなくなった。その人々が一堂に会する。コトバの羅列ではな
く、斗いの報告のために。

あなたとの連帯の可能性を確認するために。

70年6月

講演会

期日
於

6月7日(日) PM 6時
新宿厚生年金会館

主催

新宿ベ平連

出席者

秋田明大 小田実
小西誠 最首悟
真継伸彦